

学校法人東京聖栄大学 令和 3 年度事業計画

令和 3 年度は、新たに策定した『第Ⅲ期中期計画（2020-2024）』の 2 年次目を迎えます。本来ならば、計画に基づき各事業の推進を大いに図るべき年次ですが、新型コロナウイルス感染症の状況と影響を鑑みると、令和 3 年度の各事業実施にあたっては、新規・発展的な取組みは控えざるを得ず、「感染症防止対策の徹底」と「教育活動継続」との両立を堅実に希求するとともに、感染症の状況変化に即応し、その時点で求められる最善の対応を迅速かつ適切に実行することが何よりも重要であります。

このことを基本とし、令和 3 年度は以下の事項に重点的に取り組んでまいります。

<令和 3 年度 全体重点事項>

- 1 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで適切に教育活動を実施する。
- 2 『学校法人東京聖栄大学 第Ⅲ期中期計画（2020-2024）』の着実な推進
- 3 ステークホルダーからの評価の重視
- 4 認証評価受審における課題解決に向けた取組みの推進
- 5 災害対策の継続推進

<各部門 個別事項>

1 東京聖栄大学

- ・「感染防止対策の徹底」と「教育活動の適切な実施継続」との両立を追求する。
- ・教育の質の保証と向上に向け継続した取組みを推進する。
(FD 活動、自己点検活動と PDCA、学修成果の把握と公表、丁寧な学生指導、オンライン授業を一部継続した場合における教育の質保証 等)
- ・適切な教員組織編制と継承性の確立努力
- ・ステークホルダーからの評価の重視
(卒業時学生満足度調査、学修行動調査、学生との意見交換会、保護者との連携 等)
- ・就職活動支援、各種資格取得支援（学生の主体的努力を踏まえた指導・支援）
- ・管理栄養士国家試験指導（高い合格率の維持）
- ・「高等教育修学支援制度」等に基づく学生支援・相談対応の適切な実施
- ・定員確保努力の継続、適正な入試の実施
- ・学長リーダーシップに基づく大学運営と補佐体制実施

2 附属学校

1) 調理師専門学校

- ・感染症に対応した適切な学校運営・管理
「新しい生活様式」の再徹底・指導、適切な施設管理・安全対策の継続

- ・生徒募集努力
ホームページ・SNSによる情報発信の強化・推進、体験入学・オンライン説明会の充実、既卒者・社会人・外国人等幅広い入学生の募集努力 等
- ・学校運営、教育活動の向上を目指した自己評価の取組み
学校評価（自己評価、学校関係者評価）の組織的取組み、全教員対象の授業評価アンケートおよび授業改善 等
- ・魅力ある学校づくり
調理師に必要な調理技術と基本的ルール（生活マナーと衛生）を備えた人材育成と学びの満足度向上、東京聖栄大学との連携による教育内容の充実、外国人留学生の国内における就職支援（日本語能力・技能測定試験受験指導）、卒業生特別調理講習会 等

2) わたなべ幼稚園

- ・満3歳児保育の充実
混合学級：年少2クラスのみ混合→年少3クラスに拡大し、発達に問題を抱える子どもの増加、満3歳児入園に対して、年少3学級の質の均一化を図る。
幼児教室：2学級を開設。1学級週2回程度行い、円滑な入園へ結びつける。
- ・食育の充実
定評を得ている自園式給食の継続努力、園児の食育（栽培・収穫野菜の給食への取入れ）、大学と連携した食育（園児・保護者） 等
- ・教職員の意識改革
研修、自己研鑽、計画的な業務遂行、責任感をもって丁寧な指導にあたる 等
- ・感染防止対策の継続
生活習慣としての手洗い・うがい・食事のマナー徹底、遊具消毒、換気 等
- ・安全管理の徹底
遊具等の遊び方指導、避難訓練、不審者対応、施設の適切な維持管理 等

3 管理運営

- ・理事会（常務理事会）による新型コロナウイルスへの適切・迅速な対応
- ・理事会による学園全体のガバナンスと適正運営
- ・健全な財務の維持
- ・幼稚園改築のための将来所要経費 積立ての継続（2号基本金及び減価償却費）
- ・学内LAN環境の計画的整備（ファイアウォール1台・仮想サーバ3台更改 等）
- ・法令遵守（各種法令等に沿った規程整備 等）

4 災害対策の継続推進

以 上